

外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

ナミビアへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2024年2月22日（継続／新規）

首都ウィントフック市を含む全土 （下記の危険度レベル1既発出地域を除く）	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（新規発出）
カバンゴ州北部、東カバンゴ州北部、ザンベジ州、 オハングウェナ州	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続）

【ポイント】

- ナミビア国内における強盗、窃盗、ひったくり等の一般犯罪が増加しており、日本人も被害に遭っています。特にウィントフック、スワコップムント、ウォルビスベイ等の都市部においては治安が悪化しているため、短距離であっても車での移動を心掛け、夜間の不必要な外出は控えるなど、滞在中は常に十分注意してください。

【概況】

- (1) ナミビアは政治的に安定しており、治安も比較的良いとされていますが、貧富の格差が大きく、貧困と高い失業率により、雇用機会を求めて地方から都市部に人口が流入しており、特に首都ウィントフックでは不法居住者地域が年々拡大しています。ナミビア政府は、公的機関の汚職防止対策とともに、犯罪防止に積極的な取組を行っていますが、金品強奪目的の一般犯罪が増加傾向にあり、銃器を用いた犯罪も発生しています。なお、ナミビアにおける警察の治安維持能力は、日本と比較すると非常に脆弱であり、警察による迅速かつ十分な対応は期待できません。
- (2) 外国人旅行者を狙った強盗、窃盗、ひったくり等の一般犯罪が増加しており、日本人も被害に遭っています。特にウィントフック、スワコップムント、ウォルビスベイ等の都市部においては治安が悪化しているため、短距離であっても車での移動を心掛け、夜間の不必要な外出は控えてください。
- (3) 国境地帯では、不法移民の流入、車両の盗難、麻薬や銃器の違法取引、密猟等の犯罪が報告されています。特に西カバンゴ州や東カバンゴ州の北部、ザンベジ州ではアンゴラからの不法入国者が増加しており、ナミビア政府関係当局とアンゴラ政府関係当局は、国境地帯における犯罪抑止のために協力して取り締まりを強化しています。
- (4) これまでに、ナミビアにおいてテロによる日本人の被害は確認されていません。
一方、テロは、日本人が数多く渡航する欧米やアジアをはじめとする世界中で発生しており、これまでもチュニジア、ベルギー、バングラデシュ、スリランカ等においてテロによる日本人の被害が確認されています。また、近年の傾向として、警備や監視が手薄で一般市民が多く集まる場所（観光施設周辺、イベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、公共交通機関、宗教関連施設等）を標的としたテロが頻発しており、このような場所では常に注意が必要です。テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的になり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないよう、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ： <http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。